



平成30年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年7月31日

上場会社名 株式会社東陽テクニカ 上場取引所 東
 コード番号 8151 URL <https://www.toyo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 五味 勝
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 十時 崇蔵 (TEL) 03-3279-0771
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年9月期第3四半期の連結業績(平成29年10月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第3四半期	17,918	6.4	1,446	△7.3	1,425	△12.9	1,201	16.9
29年9月期第3四半期	16,846	△0.2	1,560	26.8	1,637	26.1	1,027	25.3

(注) 包括利益 30年9月期第3四半期 1,421百万円(5.7%) 29年9月期第3四半期 1,344百万円(148.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第3四半期	48.59	48.22
29年9月期第3四半期	41.56	41.30

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年9月期第3四半期	34,168	30,046	87.5
29年9月期	33,724	29,141	86.1

(参考) 自己資本 30年9月期第3四半期 29,896百万円 29年9月期 29,023百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期	—	8.00	—	14.00	22.00
30年9月期	—	8.00	—	—	—
30年9月期(予想)	—	—	—	17.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成30年9月期の連結業績予想(平成29年10月1日～平成30年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	6.6	1,300	1.7	1,300	25.4	1,000	102.0	40.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

30年9月期3Q	26,085,000株	29年9月期	26,085,000株
30年9月期3Q	1,361,516株	29年9月期	1,373,310株
30年9月期3Q	24,717,527株	29年9月期3Q	24,710,888株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは“はかる”技術を基本としたビジネスコンセプトを継続しながら、研究開発市場に傾注してまいりました。そして国内産業の次なる成長の糧となる“新しい技術・製品の開発”の一翼を担うべく、欧米を中心にした先端計測技術・機器の導入と、ソフトウェアを中心にした自社システム製品の増強に力を入れてまいりました。また、中国を中心としたアジア市場に加え、米国市場にも目を向け、当社製品のユーザー開拓に注力してまいりました。

この結果、連結売上高は179億1千8百万円（前年同四半期比6.4%増）となり、この内、国内取引高は170億7千3百万円、中国や米国を中心とした海外取引高は8億4千4百万円となりました。

利益面では、営業利益14億4千6百万円（前年同四半期比7.3%減）、経常利益14億2千5百万円（前年同四半期比12.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億1百万円（前年同四半期比16.9%増）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

(情報通信)

情報通信におきましては、主力のSpirent Communications社製品のネットワーク機器性能試験装置やテスト自動化ソフトの売上は堅調に推移し、次世代無線通信（5G）用で無線伝搬路擬似装置の受注もありました。また、自社製品のSynesisパケットキャプチャ製品は最上位の100Gイーサネットモデルが大手キャリアから採用され堅調な受注が続いております。エンタープライズ向けにはTenable社のセキュリティ脆弱性用のサブスクリプション製品の売上が好調でした。しかし、上半期の競合との価格競争による売上減を補うまでには至らず、この結果、売上高は33億3千5百万円（前年同四半期比14.9%減）、営業利益は1億9千7百万円（前年同四半期比57.1%減）となりました。

(機械制御／振動騒音)

機械制御／振動騒音におきましては、自動車開発を中心とする市場への計測システムの販売が引き続き好調であったことを背景に、新規取り扱い製品の販売も寄与し、順調に販売を伸ばすことができました。一方、将来に向けた大型設備投資を実施した事などにより経費が増加し、営業利益は微減となりました。この結果、売上高は44億7千2百万円（前年同四半期比14.0%増）、営業利益は10億4千2百万円（前年同四半期比4.6%減）となりました。

(物性／エネルギー)

物性／エネルギーにおきましては、引き続き自動車向け次世代電池やパワーエレクトロニクスの評価システム販売が好調でした。特に電池関連の充放電評価システムは製品競合力もあり、大幅に販売を伸ばすことができました。電池の基礎研究分野向け市場では輸入製品に当社開発製品を組み合わせることにより、より競合力を増した販売ができております。この結果、売上高は30億1千8百万円（前年同四半期比36.0%増）、営業利益は4億7千1百万円（前年同四半期比213.9%増）となりました。

(EMC／大型アンテナ)

EMCにおきましては、主要顧客である国内自動車関連への販売が継続して好調であり、さらに中国における電気自動車関連の販売も増加してきました。これにより、計画通り投資を継続していますが、営業利益を黒字転換することができました。大型アンテナにおきましては、新規となる防衛レーダー関連の設備販売に成功しました。この結果、売上高は25億1千8百万円（前年同四半期比13.6%増）、営業利益は1千万円（前年同四半期は4百万円の営業損失）となりました。

(海洋／特機)

海洋／特機におきましては、民間企業からの安定した需要に下支えされたうえで、公官庁の需要が増え、新規取り扱い商品の効果もあり、これらの需要に対応することに成功しました。今後有力と考えている海洋セキュリティ関連のビジネスも少しずつ立ち上がりを見せております。この結果、売上高は17億7千5百万円（前年同四半期比25.2%増）、営業利益は5億4千2百万円（前年同四半期比24.1%増）となりました。

(ソフトウェア開発支援)

ソフトウェア開発支援におきましては、構成管理ツールは、大手電子機器メーカー向けの大型案件獲得があり、また、既存ユーザーからのライセンス追加などで前年から売上を大きく伸ばしました。また、自動車業界向けCERT-C対応の静的解析ツールや、ソースコード脆弱性診断テストツールの販売も前年から大幅に伸ばしています。この結果、売上高は11億2千8百万円（前年同四半期比29.7%増）、営業利益は2億8千5百万円（前年同四半期比20.9%増）となりました。

(ナノイメージング)

ナノイメージングにおきましては、厳しい価格の競争状態が継続しており販売が減少しましたが、昨年より実施している経費の削減、および選択と集中の推進による売買益率の向上の効果が出て、増益となりました。この結果、売上高は5億5千3百万円（前年同四半期比44.4%減）、営業利益は1千2百万円（前年同四半期は7百万円の営業損失）となりました。

(メディカルシステム)

メディカルシステムにおきましては、医療機関向けの画像診断ソフトウェアシステムや国内医療機器メーカー向けOEM製品が堅調な売上を達成しましたが、中国向け液晶評価システムビジネスの動きが鈍く販売に遅れが発生しています。この結果、売上高は6億9千4百万円（前年同四半期比28.2%減）、営業損失は3百万円（前年同四半期は9千9百万円の営業利益）となりました。

(セキュリティ&ラボカンパニー)

セキュリティ&ラボカンパニーにおきましては、ITセキュリティ事業におけるDDoS対策製品の売上が前年同四半期比で大幅増でした。一方、ITセキュリティ事業および新設組織のOTセキュリティ事業（産業セキュリティ）の開発とプロモーション活動により経費が増加しました。この結果、売上高は4億2千3百万円（前年同四半期比33.2%増）、営業損失は2億3千2百万円（前年同四半期は2億2百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ4億4千4百万円増加し、341億6千8百万円となりました。主な増加要因は、現金及び預金の増加8億1千8百万円、投資有価証券の増加6億6千8百万円、商品及び製品の増加1億2千6百万円等によるものであります。一方、主な減少要因は、長期預金の減少5億円、有価証券の減少3億5千2百万円、受取手形及び売掛金の減少2億9千5百万円等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ4億6千1百万円減少し、41億2千1百万円となりました。主な増加要因は、流動負債のその他の増加4億6千8百万円によるものであります。主な減少要因は、支払手形及び買掛金の減少5億2千9百万円、賞与引当金の減少3億1百万円等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ9億5百万円増加し、300億4千6百万円となりました。主な増加要因は、利益剰余金の増加6億3千8百万円、その他有価証券評価差額金の増加2億3千6百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年9月期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績及び通期の計画を考慮し、以下のとおり修正いたします。なお、平成29年11月1日に公表いたしました連結業績予想との差異は以下のとおりです。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	23,000	1,300	1,300	800	32.37
今回修正予想(B)	23,000	1,300	1,300	1,000	40.46
増減額(B-A)	-	-	-	200	-
増減率(%)	-	-	-	25.0	-
(ご参考)前期実績 (平成29年9月期)	21,586	1,278	1,036	495	20.04

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,530,863	3,349,305
受取手形及び売掛金	4,340,831	4,045,624
有価証券	3,953,078	3,600,774
商品及び製品	1,201,182	1,328,168
繰延税金資産	420,767	397,780
その他	359,059	465,010
貸倒引当金	△3,685	△400
流動資産合計	12,802,097	13,186,264
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,282,190	2,232,485
車両運搬具(純額)	14,035	12,236
工具、器具及び備品(純額)	809,943	786,728
土地	5,607,940	5,607,940
建設仮勘定	6,631	—
有形固定資産合計	8,720,741	8,639,391
無形固定資産		
のれん	153,492	163,964
ソフトウェア	420,487	1,188,723
ソフトウェア仮勘定	913,340	106,720
その他	15,807	15,597
無形固定資産合計	1,503,127	1,475,006
投資その他の資産		
投資有価証券	8,220,706	8,889,271
退職給付に係る資産	476,088	517,279
長期預金	1,200,000	700,000
その他	895,856	890,423
貸倒引当金	△94,300	△129,085
投資その他の資産合計	10,698,351	10,867,889
固定資産合計	20,922,221	20,982,286
資産合計	33,724,318	34,168,550
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,738,652	1,209,373
未払法人税等	441,522	248,577
賞与引当金	581,578	280,000
役員賞与引当金	48,500	36,375
その他	1,007,183	1,475,921
流動負債合計	3,817,436	3,250,247
固定負債		
退職給付に係る負債	610,768	620,125
繰延税金負債	82,709	171,950
その他	72,359	79,658
固定負債合計	765,837	871,734
負債合計	4,583,274	4,121,981

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,158,000	4,158,000
資本剰余金	4,603,500	4,603,500
利益剰余金	21,155,881	21,794,455
自己株式	△1,545,736	△1,532,388
株主資本合計	28,371,644	29,023,566
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	665,079	901,138
繰延ヘッジ損益	14,739	19,826
為替換算調整勘定	△77,583	△60,632
退職給付に係る調整累計額	49,827	12,456
その他の包括利益累計額合計	652,062	872,789
新株予約権	117,336	150,213
純資産合計	29,141,044	30,046,569
負債純資産合計	33,724,318	34,168,550

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年6月30日)
売上高	16,846,426	17,918,492
売上原価	9,076,852	9,800,536
売上総利益	7,769,573	8,117,956
販売費及び一般管理費	6,209,023	6,670,969
営業利益	1,560,549	1,446,986
営業外収益		
受取利息	21,072	17,797
受取配当金	48,593	50,724
有価証券売却益	—	474
為替差益	31,785	24,043
助成金収入	66,780	—
その他	28,274	25,698
営業外収益合計	196,506	118,737
営業外費用		
支払利息	3,160	4,876
有価証券売却損	—	750
持分法による投資損失	47,755	79,577
貸倒引当金繰入額	68,500	31,500
雑損失	—	23,278
その他	611	448
営業外費用合計	120,026	140,430
経常利益	1,637,029	1,425,293
特別利益		
固定資産売却益	34,022	13,948
投資有価証券売却益	—	370,961
特別利益合計	34,022	384,910
特別損失		
固定資産処分損	1,352	6,027
特別損失合計	1,352	6,027
税金等調整前四半期純利益	1,669,699	1,804,177
法人税、住民税及び事業税	643,578	581,000
法人税等調整額	△933	22,159
法人税等合計	642,645	603,159
四半期純利益	1,027,054	1,201,017
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,027,054	1,201,017

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	1,027,054	1,201,017
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	221,926	236,058
繰延ヘッジ損益	37,937	5,086
為替換算調整勘定	54,892	△7,678
退職給付に係る調整額	13,636	△37,370
持分法適用会社に対する持分相当額	△10,650	24,629
その他の包括利益合計	317,741	220,726
四半期包括利益	1,344,796	1,421,743
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,344,796	1,421,743
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				
	情報通信	機械制御/ 振動騒音	物性/エネルギー	EMC/ 大型アンテナ	海洋/特機
売上高	3,918,928	3,921,358	2,220,060	2,216,448	1,417,928
セグメント利益又は 損失(△)	460,193	1,092,397	150,269	△4,339	437,378

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	ソフトウェア 開発支援	ナノイメージング	メディカル システム	セキュリティ& ラボカンパニー	
売上高	869,652	996,779	967,446	317,823	16,846,426
セグメント利益又は 損失(△)	236,307	△7,487	99,670	△202,276	2,262,114

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,262,114
全社費用(注)	△701,564
四半期連結損益計算書の営業利益	1,560,549

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない営業費用であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年10月1日 至 平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	情報通信	機械制御/ 振動騒音	物性/エネルギー	EMC/ 大型アンテナ	海洋/特機
売上高	3,335,078	4,472,013	3,018,268	2,518,670	1,775,254
セグメント利益又は 損失(△)	197,631	1,042,034	471,695	10,198	542,768

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	ソフトウェア 開発支援	ナノイメージング	メディカル システム	セキュリティ& ラボカンパニー	
売上高	1,128,022	553,713	694,143	423,328	17,918,492
セグメント利益又は 損失(△)	285,760	12,101	△3,540	△232,680	2,325,970

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,325,970
全社費用(注)	△878,983
四半期連結損益計算書の営業利益	1,446,986

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない営業費用であります。